

**「生活作文の書き方教室」掲載作文使用条件**

① 「生活作文の書き方教室」（以下「本サイト」）掲載作文の著作権は放棄しておりません。使用条件に同意した場合にのみ使用できます。

② 本サイトの作文は、学校（小学校および中学校）提出に限りその使用を認めます。

③ 本サイトの作文を使用し、何らかの問題が発生しても、本サイトおよび管理人は一切の責任を負わないものとし、すべて使用者の自己責任で対応するものとします。

④ 本サイトおよび作文に関しては、苦情とうは一切受け付けません。

⑤ 何かしらの問題が発生する可能性がある場合、判断した場合、使用は中止してください。

⑥ 本サイトの作文を他サイトへ転載することは厳禁です。

⑦ 本サイト掲載作文への直リンクは厳禁です。

以上

真夏の草むしり

五年二組



「庭の草を全部むしりなさい！」と、お母さんに言われました。

夏休みに入ってから朝寝坊ばかりしていて、いまはた。ついに堪忍袋の緒が切れたのでしよう、その罰として、草むしりを命令されたのです。

規則正しい生活をしなかったわたしにも責任はあります。しかし「最高気温が三十五度を超える日に、何も草むしりを命令しなくてもいいのに」、わたしはそう思いました。

「熱中症で倒れたらどうしてくれるんだ」

「お母さんがきちんと庭の手入れをしていれば、草なんか生えていないのに。この手抜き主婦！」と、声に出すと大変なので、心の中で八つ当たりをしました。

草むしりを始めてまもなく、おでこの汗がほおを流れました。汗でTシャツの色が変わり始めました。暑い日でした。

草むしりも半分くらい終わったところでしょ  
 うか、気がついたことがありました。「草と  
 か雑草とかいつも言っているけど、いろいろ  
 な種類があるんだな」ということです。  
 背の高い草もあります。背は低いけれど、  
 横に伸びる草もあります。花を咲かしている  
 草もあります。茎の太い草もあれば、細い草  
 もあります。葉っぱの形もいろいろです。太  
 い根もあるし、細い根もあります。  
 新しい発見をしたような、ちょっぴりうれ  
 しい気持ちになりました。  
 抜いた草を一本一本並べ、見比べてみまし  
 た。でも夏の日差しのおかげ、草はすぐにし  
 おれ始めました。  
 草むしりも終わろうかというとき、「休憩  
 しなさい」と、お母さんが氷の入ったカルピ  
 スを持ってきました。  
 「もう少し早く持ってきてくれればいいのに。  
 草むしりはもう終わりだよ」と、言いかけま  
 したがやめました。

ここで反抗をしたら、何を言いつけられる  
 か分かりません。触らぬ神にたたりなしです。  
 「きれいになったわね」とだけ言うと、お母  
 さんは家の中に消えていきました。  
 草むしりを終えて、部屋に戻りました。  
 「たしか小学校に入学したとき、おじさん  
 に買ってもらった植物図鑑があるはず」と、  
 本棚を探しました。本棚の隅の方にその図鑑  
 はありました。  
 「図鑑を開くのも久しぶり」、そう思って、  
 庭で抜いた草を調べてみました。  
 「背の高い草は●●っていう名前なんだ」  
 「花を咲かせていた草の名前は●●というん  
 だ」 「横に伸びていた草は：：」 「いつも雑  
 草と言っていた草にもそれぞれに名前がある  
 と思うと、何だか不思議な気持ちになりまし  
 た。  
 学校でも家でも何回も草むしりをしたこと  
 があります。でも、その草一つ一つに名前が  
 あるなんて、考えもしませんでした。わたし

にとつては全部まとめ「雑草」でした。ひ  
 まわりやチューリップのように、個別の植物  
 と言った認識はありませんでした。  
 草を抜けば庭がきれいになるとしか考えて  
 いま<sup>！</sup>せんでした。むしろられる草でしかありま  
 せん<sup>！</sup>でした。  
 でも、<sup>も</sup>一つ一つの草を調べてみると、鳥の  
 えさになる草<sup>も</sup>もあります。大昔の人が愛して  
 いた草があるのも分かりました。食べられる  
 草があるのも知ることができました。いやだ  
 けど花粉症の原因になる草もあります。  
 草にだっていろいろな役割があると分かり  
 ます。雑草というと、迷惑な草、人間に抜か  
 れたり、除草剤をかけられたりするだけの存  
 在のイメージがありました。しかし、わたし  
 たち人間の役に立つ面もあることも分かりま  
 した。  
 「ちよつと調べてみよう」で、思いもしなか  
 ったことが知識になると分かった一日でした。  
 。